

令和元年度 第 10 回 政策決定会議 会議録①

-
- ◆開催日時: 令和2年1月31日(金) 13:15～14:00
 - ◆開催場所: 市長公室
 - ◆出席委員: 永野市長、小山副市長、土佐副市長、樋口教育長
-

◆審議事項

- ・岸和田市立幼稚園及び保育所再編個別計画(案)の策定について

……………子育て施設課・教育総務課・行財政改革課⇒承認

◆審議概要

『岸和田市立幼稚園及び保育所再編個別計画(案)の策定について』

〈説明者〉山本子育て応援部長、池宮子育て施設課長、倉橋参事、松阪担当長
坂井財務部長、高井教育総務課長、井上参事、金永主査
渡邊行財政改革担当理事

◎説明者から、案件及び政策調整会議における議論の内容を説明し、政策調整会議にて本件原案の
おり承認された旨、報告。

※案件内容は付議依頼書に基づき説明。政策調整会議における議論内容は、以下のとおり説明。

【政策調整会議における議論内容】

- ① 選定した3か所のうち、旧春木体育館跡地については老朽化が進んでおり、市有地かつ更地であること等を勘案した結果選出していること。
- ② 今回再編対象となっていない地域(3次生活圈)を含め、他の候補地についても柔軟に検討しておくこと。今後の課題等について共通認識を持つておくようにすること。

◎説明後、質疑応答

〈市長〉本日決定会議で承認された場合、本計画案が市民に公表されるのはいつか。

〈倉橋参事〉来月の文教民生常任委員会での報告後、速やかに公表する。

〈土佐副市長〉2月上旬から議案説明があり、本計画案と関連する当初予算案についても議会に対し説明がなされるが、その時点で質問等があった場合の対応はどうするのか。

〈子育て応援部長〉議会各会派に対しては文教民生常任委員会にてこのように報告する予定であると、予め説明する。

〈市長〉説明に回るのであれば、その時点でホームページ等に公表するということも考えられるがどうか。

〈松阪担当長〉市民説明会を開催するなかで、市民の不安な声を少なからず聴いており、より丁寧な説明を

求める声があるのも事実。待機児童の問題もあり、スピード感が大切であることは理解しているが、できる限り丁寧な説明を行っていききたい。もちろん期限のデッドラインはあるので、それも含めて検討してもらいたい。

〈市 長〉この件に関して、丁寧な説明を求められているのは間違いない。そして、丁寧な説明はこれまで十分に行ってきた。しかし一方で、スケジュールどおり速やかに遂行していくべきことでもあり、こちらの方がより大切だと考えている。現在のスケジュールの中で、十分にご理解いただけるよう引き続き進めていくべきだと考える。

〈松阪担当長〉当然、これまで丁寧な説明に努め、再編方針の趣旨から逸脱せずに進めてきている。ただ、その中でも、まだまだ十分にご理解いただけていないのではないかと感じている。

〈市 長〉これまで本計画は、拙速にはなく、最大限の配慮の上進めてきた。待機児童があり、保育ニーズがますます高まる中、市立幼稚園と保育所を、両方の機能を持った民間の認定こども園として再編し、ニーズに速やかに対応していくという本来の趣旨や目的を理解してもらうため、説明は十分に行わなければならない。

〈小山副市長〉公表の時期と方法については、検討し後日報告するように。

〈市 長〉公平性の観点からも、市民をはじめ、あらゆる関係者には同時に公表できる工夫を。内容について、計画の位置付けの部分に、「本市の未来を担っていく子どもたちにより良質な教育・保育環境を提供することを目的に再編方針を策定」と記載があるが、この目的は具体的にはどういうことか。

〈松阪担当長〉待機児童の解消や幼稚園の小規模化に対応し教育機能を高めること、施設の老朽化に対するハード面の整備等が挙げられる。

〈市 長〉計画の位置付けに、現状分析や課題を加えることは可能か。

〈倉 橋 参 事〉岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針の中で示している。

〈市 長〉反対意見もある中、十分な説明が必要であることから、何故この再編をいま行う必要があるのか、本市の具体的な課題や目的を再掲した方がよい。再掲することで、趣旨や目的の理解が進むのではないかと考える。

〈倉 橋 参 事〉表現方法について、検討する。

〈小山副市長〉本案件について、一部追記の上、原案のとおり承認してよろしいか。

【異議なし】

⇒本件を一部追記の上、承認する。

令和2年1月 24 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 子育て応援部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	岸和田市立幼稚園及び保育所再編個別計画(案)の策定について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、 簡潔に記載すること。)	本計画(案)は、令和元年12月に策定した「岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針」に基づき、市立幼稚園と保育所再編の実施方策、計画の期間、再編対象となる施設等の内容を具体的に示すため策定するものである。 3月議会で関連議案の提案とあわせて本計画(案)を説明した上で、地元説明、候補者選定等を進めていくに当たり、政策調整(決定)会議に附議するものである。
説明者	子育て応援部子育て施設課:池宮、倉橋、松阪
	教育委員会総務部総務課 :高井、井上、金永
	財務部行財政改革課 :渡邊、新内
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

別紙

付議会議	令和元年度 第11回会議
付議事項	岸和田市立幼稚園及び保育所再編個別計画(案)の策定について

★取組の目的

対象	就学前児童
どのような状態を目指す	就学前児童の保護者にとって良好な幼児教育・保育環境を実現するため、市立幼稚園及び市立保育所の再編を実施する。

★総合計画上の位置付け

102010201	基本目標	I－2 次世代を育てる
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(1)安心して子どもを生み育てている
	目指す成果	②仕事と子育てが両立できている
	行政の役割	ア 安心して子どもを預けられる環境を整える

★現状と課題

幼稚園の就園率の低下、保育所の待機児童の発生、施設の老朽化等様々な課題が生じている。
本計画(案)は、令和元年12月に策定した「岸和田市立幼稚園及び保育所再編方針」に基づき、市立幼稚園と保育所再編の実施方策、計画の期間、再編対象となる施設等の内容を具体的に示すため策定するものである。
3月議会で関連議案の提案とあわせて本計画(案)を説明した上で、地元説明、候補者選定等を進めていくに当たり、政策調整(決定)会議に附議するものである。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		H29年度	H30年度	H31(R1)年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
特定教育・保育施設整備費補助金 認定こども園施設整備支援事業費補助金		0	0	0	297,000	597,000	—	—	—
財源内訳	国費				249,000	501,000			
	府費								
	起債				39,000	78,000			
	一般財源				9,000	18,000			
	その他								
事業費		計			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		894,000			297,000	597,000	0	0	0

※財源については、子育て安心プランが採択された自治体における国の保育所等整備補助金の拡充(1/2→2/3)が継続されると仮定し算定している。

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
有	(無)		0	0	0	0	0

★取組の効果を表す指標

指標名		単位	目標値							
			H29年度	H30年度	H31(R1)年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①	本計画(案)により設置される 幼保連携型認定こども園数(累計)	園	0	0	0	0	0	3	3	3
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。